

① 開催概要

日時 2019年2月12日(火)～14日(木)

場所 群馬県水上ホテルジュラク

主催 全国学生委員会

実行委員長 小島 望(全国大学生協連理事・学生委員長)

企画局長 渡邊 聡(全国大学生協連執行役員・全国学生委員)

事務局長 羽場友作(全国大学生協連執行役員・全国学生委員)

65会員生協263名が参加しました

(連合会・ブロックを含む)

●北海道ブロック

北海道大学生協
小樽商科大学生協
酪農学園生協

●東北ブロック

岩手県立大学生協
盛岡大学生協
宮城大学生協
東北大学生協
東北学院大学生協

●東京ブロック

茨城大学生協
群馬大学生協
工学院大学学園生協
埼玉大学生協
桜美林学園生協
首都大学東京生協
信州大学生協
新潟県立大学生協
新潟大学生協
清泉女学院生協
前橋工科大学生協
東京農業大学生協
白梅学園生協
法政大学生協
麻布大学生協
明治学院消費生協

●東海ブロック

愛知大学生協
愛知県立大学生協
金城学院生協
三重短期大学生協
三重大学生協
静岡大学生協
中京大学生協
日本福祉大学生協
名古屋大学消費生協
名城大学生協

●関西北陸ブロック

富山大学生協
富山県立大学生協
福井大学生協
京都橘学園生協
京都工芸繊維大学生協
東京大学生協
京都府医科大学生協
同志社生協
奈良教育大学生協
奈良県立大学生協
奈良女子大学生協
立命館生協
龍谷大学生協
関西学院大学生協
近畿大学生協
阪南大学生協

神戸市外国語大学生協
大阪樟蔭女子大学生協
大阪大学生協
兵庫県立大学生協

●中国・四国ブロック

下関市立大学生協
広島修道大学生協
高知県公立大学生協
高知大学生協
松山大学生協
梅光学院大学生協

●九州ブロック

宮崎大学生協
九州大学生協
長崎県立大学シーボルト校生協
北九州大学生協
琉球大学生協



② 獲得目標

- A.組合員について協同組合の理念から理解を深め、協同の価値を実感する
- B.大学生協がどうして必要とされているか考え、大学生協のコミュニティ作りに参加することの大切さを自分ごととして捉える
- C.組合員活動として各会員生協で広めることができる

③ 学びの流れ

- ・ 協同について実体験から理解を深め協同が身近なものだと感じる
- ・ 理念と実践を学ぶことで協同と協同組合の可能性を感じる
- ・ 組合員が協同組合を作る大切な存在だと気づく

協同組合の組合員を深め、協同の価値に気づく時間！

- ・ 「より良い大学生活」を実現していくために協同していくこと考える

- ・ 大学生協に組合員が参加することではじめて「より良い大学生活」が実現しうると知る

大学生協がどうして生まれたかを知り、今後の大学生協について考える

- ・ 自分たちが取り組んできたことにどのような意味があったのかを、多角的に実感できる。
- ・ 組合員をどう巻き込んでいくかを具体的にイメージできる。

- ・ 自分たちが取り組んできたことにどのような意味があったのかを、多角的に実感できる。
- ・ 組合員をどう巻き込んでいくかを具体的にイメージできる。
- ・ 組合員活動のよさを実感し、自分の周りの人にも実感させられるようになる。

3日間の学びを整理し、今後の取り組みの展望を持つ

協同組合の理念、価値を深め、ひとりの組合員として組合員活動を各会員生協で実践していくことができる

④ 当日のコンテンツ

アイスブレイク



全国各地から集まった参加者同士で自己紹介を行い、「わたしと大学生協」というテーマで自分の会員生協や学生委員会の自慢できるポイント、参加者自身が学生委員会活動で努力してきたことを交流しました！

3日間学び合う参加者同士の理解を深めました！

企画1 協同組合にワクワクする時間

参加者自身の今までの経験を交流し、協同とは何なのかについて学びました。農協や医療生協の取り組みも紹介しつつ、協同組合が何を目指している組織なのかについて学び合いました！



賀川豊彦のエピソードやコープこうべの例や協同組合の価値・信条などを学び、協同組合が今もなお大切にしていることを提起を通じて学び、ワークを通じてどこに魅力を感じたかを交流しました。

③ この時間を通して、大学生協の取り組みがより良くなるためにはどういう工夫をすると良いと思いますか？理由もあわせて教えてください！

一人の「困った」に寄り添う仕組み
をつくると思います。

理由：一人に頼らず、結果的にみんなが
よくなるから

当日の感想文
用紙より抜粋

企画2 大学生協と社会との関わり

企画1の協同組合の学びをもとに大学生協に絞り、大学生協の歴史などを振り返り、大学生協を取り巻く環境と大学生の実態がどのように変化してきたのかを深めました！
ワークを通して大学生協が目指すより良い大学生活を具体化しました！



『大学』って？

・教育の形が自由

・社会に出る前の技能や知識を身につける場

・地域課題の解決のための研究機関で若手が集う拠点

大学生協はこれらの環境で過ごす人の福利厚生や教育機関の継続を守っている

UNIV

SOKEN

G討②大学生協のこれから

STEP1

・大学生が持つポテンシャルを考えよう！

STEP2

・社会は大学生に何を期待しているだろう？
社会の中で大学生が持つ役割を考えてみよう

STEP3

・自分たち大学生はどのような考動が必要か？

UNIV

SOKEN

そもそも大学とはどんな場所か？大学生はどんなポテンシャルがあるのかをワークを通して考えました！

① 大学生協は大学や地域の中でどのような役割を発揮できていると思いますか？

大学生が「自由な学び」活動を行う上で、基礎となる支えを
する。(食事の提供、健康面、勉強に必要なものを用意して
物資面を充実させる)

② この時間を通してどのようなことを意識して活動に取り組んでいきたいですか？

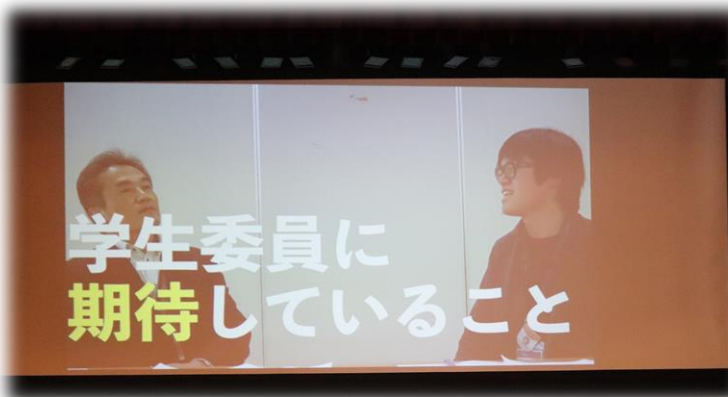
「地域」の中の大学生として、「自分たちの生活＝大学生活だけでなく、
地域社会の中でどのような生活を望むのか」ということを考
えることが重要」ということを学び、自分の大学ではどのような
活動ができていのかを考えて取り組んでいきたい。

② この時間を通してどのようなことを意識して活動に取り組んでいきたいですか？

目的目標をもった生活をおくること。
新しいことに挑戦していくことを 志す活動していきたい。
(企画を同じものをつづけるのではなく)

当日の感想文用紙より抜粋

企画3 よりよい大学生活と組合員参加

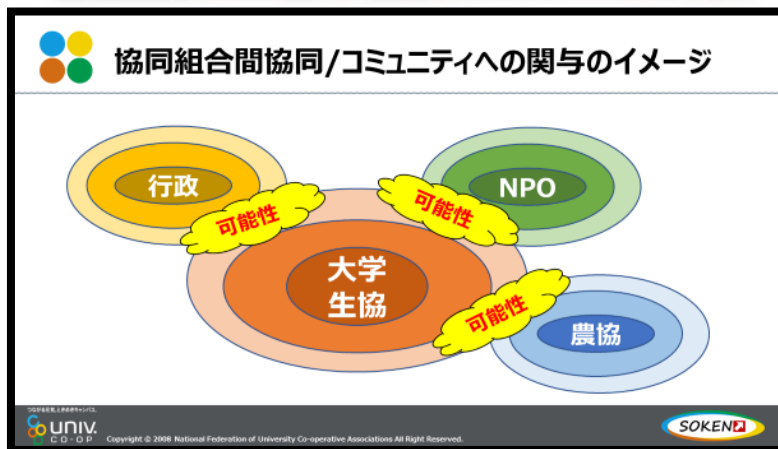


組織委員会としてどんな役割があるのか、また一人の組合員として普段大学生協とどんな関わりをしているかをワーク通して確認しました！提起とワークを通して多様な組合員参加について深めました！

組合員参加の中でも特に踏み込んだ運営参加について、島根大学生協栗山専務理事と岐阜市立女子短期大学生協の吉田さんへのインタビュー動画を通して、職員はどのように考えているのかを学びました！



大学生協が社会や地域とともにコミュニティを形成し、組合員参加を通じて、より良い大学生活を実現してきたことを実感するために模擬地域というワークも行いました！



② あなたの感じる組合員参加や運営参加の価値はなんですか？提起やグループワークを通して実感したことを教えてください。

私の今の
組合員参加や運営参加をすることで「協同組合らしい」である「組合員の組織」という部分が実際に移るのかなと思います。難しく考えるのではなく「意外とハードルは低いのかな」と思いました。

当日の感想文用紙より抜粋

企画4 自分たちの活動の良さを知る時間

今までの学びを踏まえて、自分たちの取り組みにどんな魅力があるのかをワークを通して再確認しました！

分科会形式で、全国各地で行われた活動事例から「組合員をより巻き込むための手法について学びました！

<分科会発表取り組み名>

・北海道大学生協

「総代の集い」

・名城大学生協

「組合員の声実現企画」

・大阪樟蔭女子大学生協

「総代会の取り組み」

・大分大学生協

「留学生メニュー」

・奈良教育大学生協

「何でも相談会（なんそう）」

・岩手県立大学

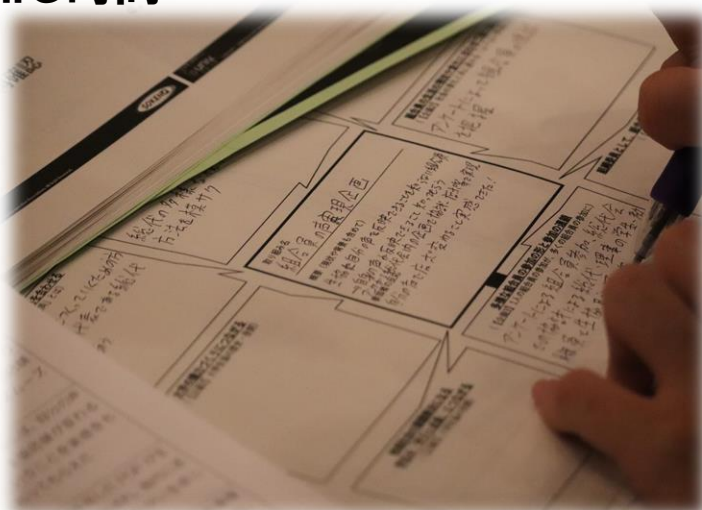
「一人暮らしお悩み相談掲示板」

・福山市立大学生協

「組合員アンケート生協設立1周年フェスタ」

・長崎県立大学シーボルト校生協

「おしゃピク」



当日の感想文用紙より抜粋

② 組合員活動の良さを実感することができましたか？またできた人はどんなところが魅力に感じましたか？

今まで、必要だから、や、というところから、や、というところから、

「なぜ必要なのかを考える機会になりました。」

組合員が自分たちの組織だから自分たちの手で変えていく
という意識を少しでも持てくたたらいいなと思います。

それだけ、組合員活動の魅力だと思えるからです。

企画5 わくわくへ変換の時間

組研3日間の学びを通して、どのポイントに「良さ」を感じているのか、「なぜ良い」と思ったのかを参加者同士で深めました。各会員生協でどのように参加を広げていくことができるかを3つのワークを通して考えました。

<各地域の集合写真>



<北海道BK>



<東北BK>



<東京BK>



<東海BK>



<関西北陸BK
北陸A>



<関西北陸BK
京滋奈良A>



<関西北陸BK
大兵和A>



<中四国BK>



<九州BK>

当日の感想文用紙
より抜粋

③ 今のわくわく度は？

100 % !

理由も教えてください！

今まで先輩たちがいつか重ねてきたことをしっかりと理解して
新企画をつくってみたい!!

お楽しみ企画

セミナー内の学びの時間とは別に、全国で集まるからこそできることやセミナーの学びをさらに深めることを目的に以下の時間外企画を開催しました。

- ① 誰一人取り残さないブース
- ② ヒバクシャ国際署名
- ③ 社会を覗く
- ④ 全学委紹介
- ⑤ 奨学金関連
- ⑥ 組研参加者後追い
- ⑦ 朝のラジオ体操企画
- ⑧ 留学生ブース
- ⑨ 総会・総代会ハンドブック展示
- ⑩ 質問箱ブース
- ⑪ 勉学援助制度
- ⑫ 共済月間（ブース・表彰）
- ⑬ 新学期冊子展示
- ⑭ ちょっきにボード表彰
- ⑮ eco-op展示



3日間の感想

私は 他にも 代表として 参加しただけでなく、
3日間 吸収したことを、しっかりと他の組合員に
伝えていこうと思います。
ありがとうございました (11/12)

参加して 正解でした！
皆様 3日間 ありがとうございます！